

よいことの Weekly Report ために 2025-2026 手を取りあおう



創 立 1969年 4月 14日
承 認 1969年 4月 23日
チャーターナイト 1969年 11月 9日
発 行 I T・広報委員会

会長：鈴木雅博 / 幹事：堀井実 / 副会長：遠藤直樹 / 会長エレクト：藤田俊和 / 副幹事：岡田和幸 / S.A.A: 松岡寛征

今週のプログラム	第 2656 回	2 月 6 日
卓 話：「ドローンを利用した危機管理」 神原 会 員		
担 当 者	危機管理委員会	例 会 場 J Rホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2655 回	1 月 23 日
職 業 奉 仕 フォーラム		
担 当 者	職業奉仕委員会	例 会 場 J Rホテルクレメント高松



鈴木会長挨拶

・皆さんこんにちは。
寒い日が続きますのでインフルエンザ等お気を付けて下さい。
本日は職業奉仕委員による職業奉仕フォーラムとなります。
また、本日はガバナー推薦について皆様のご意見をお伺い
したいと思っておりますのでよろしくお願いします。
以上です。

堀井幹事報告

回覧 ・IMが3月21日に開かれるので、その案内と出欠表を
回覧で回します。
・一般社団法人比国バギオ基金からの書類が届いて
いるので回覧に回します。
・ハイライトよねやまが届いているので回覧に回します。
・高松市春日町にガバナー事務所を新たに開設する旨の
連絡とガバナー月信が届いているので回覧に回します。
・公益財団法人公益事業支援協会より大規模公益法人
500ガイドブックが献本されましたので、回覧に回します。
案内 ・2026-2027年の短期交換派遣学生の募集が来ているの
で、参加を希望される学生がいる場合はお知らせください。

・協賛した高松ピアノコンクールの招待チケットが届き
ましたので、観覧希望者は申出てください。
・ホプシーズのコンサートのチケットをいただきました
ので、観覧希望者は申出てください。
報告 ・この後の例会で、住谷幸伸会員を2028-2029年度
2670地区ガバナーに推薦するかどうかの議題を提
出し、皆様方の御意見を頂戴したいと存じます。
・なお、上記の議題については、例会時に議題として
提出しましたが、住谷会員はもとより、クラブ内での
人的負担が大きいことから、人的負担及び60周年と
被ることも覚悟のうえで引き受けるかどうかパスト会
長幹事会を開いて協議するということになりました。

ニコニコBOX

誕生日のお米、ありがとうございました。 山中
明日寒いですが京都へ行って参ります。 大西
遅刻・早退 4件

合計 6 件

本 日 の 合 計 10,000 円

2025-2026 年 度 累 計 500,500 円

2月6日 今日は何の日	今日生まれの有名な人
海苔の日/抹茶の日/お風呂の日	1967年 坂井泉水 1987年 市原隼人
1972年 札幌オリンピックジャンプ70m級で日本がメダル独占	1962年 石塚英彦 1985年 石井慧介
2011年 大相撲八百長問題で2011年春場所の中止が決定	1956年 ミミ萩原 1969年 福山雅治
誕 生 花 「ナノハナ(菜の花)」花言葉は「小さな幸せ・快活な愛・明るさ」	
誕 生 石 「ホワイトジルコン」宝石言葉は「生命力・永遠・平和」	

我 等 の 生 業

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求るところは平和親睦
力るところは向上奉仕
おおロータリアン 我等の集い



メイクアップ

1月13日 高松中央RC 江島
1月21日 高松東RC 藤田 田中

出席報告		出席委員長：大西一正	
会 員 数 /	43 名	出席規準数 /	40 名
出席者数 /	31 名	欠 席 者 数 /	9 名
出 席 率 /	77.50%	ビ ジ タ ー /	0 名
最終出席率 /12月19日		69.05% → 69.05%	

2月誕生日の樹

1日 鈴木雅博 会員 シダレウメ(枝垂梅)
11日 吉本委子 会員 プンゲンストウヒ
16日 入谷圭介 会員 ポプラ



記念樹	ー記念日と誕生日365日の+1の樹ー	財団法人経済調査会発行より
-----	--------------------	---------------

ロータリーの特別月間（2月）

平和と紛争予防／紛争解決月間
(Peace and Conflict Prevention/Resolution Month)
2014年10月RI理事会は、2月を重点分野：「平和と紛争予防／紛争解決月間」とした。紛争予防と仲裁に関する、若者（将来にリーダーとなることが望まれる人）を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

ロータリー創立記念日 (Rotary's Anniversary Day)
世界理解と平和の日 (World Understanding and Peace Day)
1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日であり、この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」として順守されている。この日、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならない。

RI会長からのメッセージ（2月）



行動が私たちを定義する
フランчесコ・アレツォ
2025-26年度 国際ロータリー(RI)会長

1月に開催された国際協議会で、オンラインカ“インカ”ハキーム・ババラRI会長エレクトは、ロータリー会員に向けて次のようなメッセージを発信しました。「Create Lasting Impact(持続可能なインパクトを生み出そう)」。
2月は平和構築と紛争予防月間です。今こそインカ会長エレクトの呼びかけを真の変化へとつなげる絶好の機会です。
平和とは、単に戦争がない状態を指すものではありません。紛争がなくても、飢餓や不安定な生活に苦しみ、家族を支えることができない日々は、真の平和とは言えません。平

和には、自由と機会、そして人間の尊厳を尊重する敬意が欠かせません。しかし、変化への恐れ、文化的損失への不安、自分たちが理解できない人々に対する恐怖が、その道を阻むことがあります。
恐れは、無視や攻撃によって克服できるものではありません。平和への第一歩は「知ること」です。ロータリーはこの考え方を大切にしています。ロータリー平和センターや平和フェロー、そしてさまざまな平和教育の取り組みは、知識が信頼を育み、地域社会が紛争解決の道を見いだす力となることを示しています。
例えば数十年に及ぶ紛争が深い傷痕を残してきたコロンビアでは、2025年大規模プログラム補助金受領プログラム「コロンビアにおける平和と繁栄への道」が、世界食糧計画(WFP)と連携し、機会の拡大、紛争解決、人々と社会サービスをつなぐ活動に取り組んでいます。暴力、貧困、食糧不安の連鎖を断ち切り、平和を根付かせることを目指しています。
インド・マハラシュトラ州では、「世界を変える行動人」に選ばれたスワティ・ヘルカルさんが、土壌の劣化、農家の負債増加、化学肥料による健康被害といった課題に向き合いました。彼女はロータリーのパートナーと共に再生農業プログラムを立ち上げ、土地を再生し、コストを削減し、暮らしの安定を実現。現在では1,100人以上の農家が参加し、50以上の村がこのモデルを採用しています。
さらにアフリカ中部のチャドでは、ロータリー平和フェローのドミノ・フランクさんが、反乱に参加した1,500人以上の女性が社会復帰プログラムから排除されている現状を知りました。彼の働きかけにより、チャド初のグローバル補助金の実現し、「平和の回廊」プロジェクトが始動しました。目標の3倍に当たる100人以上の女性が識字教育と職業訓練を修了し、協同組合を結成、家族を支えられるようになりました。
コロンビア、インド、チャドの事例が示す教訓は明確です。平和は夢ではなく、継続的な行動の結果であるということです。そしてそれが真の「持続可能なインパクト」を生み出すのです。これらの成功を他の地域で再現するために、ロータリークラブは三つの行動を取りましょう。平和フェローや組織内の平和の専門家から学ぶ、地域ニーズ調査に平和構築の視点を取り入れる、そして形式よりもインパクトを優先する、です。
恐れがまん延する世界において、ロータリーは中途半端な対応やうわべだけの言葉で満足してはいけません。私たちが真に「行動人」であるなら、その名の通り、行動こそが私たちを定義するべきです。共に、世界で、地域社会で、そして私たち自身の中に、「持続可能なインパクト」を生み出していきましょう。

公共イメージ向上委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。
題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構ですので投稿していただきます様、宜しく願い申し上げます。

次週のプログラム		第 2657 回	2 月 13 日
新入会員卓話：吉田会員			
担 当 者	プログラム委員会		例 会 場 J Rホテルクレメント高松